

猪名川河川レンジャーの取り組み

数珠つなぎインタビュー



レンジャーによる会報誌「猪名川河川レンジャー News Letter」に掲載のインタビュー企画。猪名川に関する様々な活動団体を数珠つなぎ形式で紹介



出前授業



中学生に猪名川の外来植物についてクイズ形式で解説、駆除体験も行った

勉強会



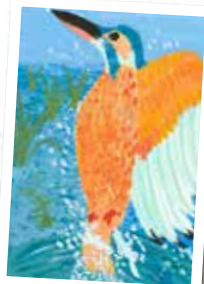
「防災・減災を学ぶ会一座学」で「災害とどう向き合うか」を発表、意見交換を行った

猪名川のい〜な！受賞作品

※写真は第2・3弾受賞作品



「蛭がいっぱい」中村 仁清さん



「カワセミを見たよ!!」上田 恵さん



「いくよ〜」藤田 恵子さん



「夕日に染まる」豊島 輝満さん

今年の募集テーマは「大スキ いな川」。応募は9月30日(金)まで、郵送(当日消印有効)、メールにて。応募用紙は、流域各市の公共施設に設置されている

■応募先(郵送)：大阪市北区野崎町7-8 株式会社 修成建設コンサルタント内 猪名川河川レンジャー事務局宛
(メール)：inagawa_ranger@yahoo.co.jp 詳細はHPへ!

巻頭特集

猪名川河川レンジャー

猪名川を守り、育て、つなぐ

一級河川・猪名川。

織物文化との歴史も深く、染めた絹は川で洗われた。そんな猪名川を舞台に、「川に親しんでもらおう」と活動する「レンジャー」がいる。猪名川への想いと、その仕事を取材した。



猪名川にレンジャー？ 始まりは、地域と共に

ちよつと涼みに……。古くから流域の住民と共にあった猪名川。しかし近年、川を身近に感じる機会が減少。人々の猪名川への意識も薄くなっていった。そんな平成15年(2003年)9月、猪名川を含む淀川水系の「河川整備計画」が策定され、その内容に「新たに地域の住民と連携した活動を行うこと」が盛り込まれた。その文言を受けた平成17年(2005年)、流域の環境活動団体からレンジャー3名が任命され、「猪名川河川レンジャー」(以下同レンジャー)が発足した。

「河川レンジャーって、あまり馴染みが無いよね」とレンジャーの中渚孝雄さん。河川レンジャーとは、河川の整備や環境管理において、地域住民間、および行政との連携を助けるコーディネーター。この役割に基づき、「水辺文化」、「防災」、「維持管理」、「河川利用」、「環境保全」の5分野を活動の大綱としている。中渚さんは、河川防災の知識を生かした活動を始めて



猪名川河川レンジャー 中渚孝雄さん

ご自身の仕事も抱えながら、レンジャーとして活動に携わる中渚さん。「長い時を経て、歴史・文化が育まれてきた猪名川を安全で快適な場所にするために、力になれば」

川と人を結ぶ 多彩な活躍の場

川西市・池田市近辺から尼崎市までを活動範囲とする同レンジャーは、毎月1回の「レンジャー会議」を主軸に活動計画を話し合う。主催団体との連携活動である「水辺まつり」と「猪名川クリーン作戦」には発足当時から参加。昨年の「水辺まつり」では、同レンジャーのブースで水生生物や外来種の展示を行い、家族連れなど約460人が訪れた。さらに今年7月には、水辺で憩いの時を過ごす全国規模の活動「ミズベリング」に初参加した。

また平成24年(2012年)からは、猪名川の魅力を発信してもらおうと、写真・絵画コンクール「猪名川のい〜な!」を主催。流域の活動団体を訪ねる「数珠つなぎインタビュー」は、今年3年目を迎える。さらに要望があれば「出前授業」も行う。昨年は、実地授業として川西市の中学校の生徒と外来種「キクイモ」の駆除体験を。今年9月には「猪名川の洪水」をテーマに

小学生への授業も予定している。これらの活動も、自身の知識や流域団体の協力があったからこそ。同レンジャーは勉強会でスキル



2年目。発足当時のレンジャーは世代交代し、現在はレンジャーとして中渚さん一人。

「その代わり、他の活動団体から3名、協力員として来て下さっています」。藤澤憲治さん、田中廉さん、そして佐藤重子さんだ。「たぬきはちよこちよこ見るよ」。川西市で子どもに田植えや虫取りを教える藤澤さん。「猪名川には貴重な生き物も生息する。自然の良さを教えたい」と微笑む。「川西自然教室」の会員の田中さんは、発足時レンジャーだった会員と交代で協力員になった。「もう少し川に来て貰いたい。河川敷は気持ちいい。その中で、ゴミがあれば拾おうかという気になる。伊丹市でヒメボタル保護活動を行う佐藤さんも頷く。「子ども達に水遊びをして欲しい。やっぱり、体験することが大切。猪名川での、体験が疑問や発見を生み、それが川を知り、守りたいという気持ちに繋がる。そんな場所を提供したい。3人の思いは一つのようなのだ。



猪名川河川レンジャー協力員 藤澤憲治さん 佐藤重子さん 田中廉さん

「素晴らしい自然・猪名川の大切さを伝えていきたいです(藤澤さん)。「貴重な野草等の観察を通じて、自然豊かな猪名川の楽しさを紹介していきたいです(佐藤さん)。「この自然を、これからの世代に残したいです(田中さん)

「新しい風と駆けたい」水辺への招待

アップを図り、年度末には関係団体との「流域意見交換会」を開き情報交換を行う。レンジャーは、流域をまさに東奔西走だ。

今後は、「現在行っている活動を大切に続けていくことが大事」とのことだが、「人数が多くなれば活動の幅も広がる」とも。そこで同レンジャーでは、活動を共にする人材を随時募集している。いきなりレンジャーになれる訳ではないが、まず協力員になって活動経験を積むことでレンジャーになることができる。協力員には年齢制限も無く、「猪名川を知りたい。魅力を広めたい」という思いを持った人なら原則誰でも歓迎という。また、前述の「猪名川のい〜な!」は、現在「大スキいな川」をテーマに作品を募集中。受賞作は、流域の各市で展示予定だ。川と人々との関係を「水と触れ合う場が少なくなってきた」と中渚さん。もともとみんなが遊んでいた猪名川。防災への意識はもちろん、この川の美しさ、楽しさを知って欲しい。「水と自然の触れ合いを通して、地域と行政が一緒になって取り組める。安全で快適な川作り」に繋がる活動ができれば。レンジャーの太陽のような笑顔が、水面が光る夏の猪名川沿いに輝いている。

取材協力

猪名川河川レンジャー
HP: <http://iranger.web.fc2.com/>
Mail: inagawa_ranger@yahoo.co.jp
レンジャー・レンジャー協力員を募集中!
詳しくは...
猪名川河川事務所
TEL: 072-751-1986 工務課(旧管理課)